

もみじ福祉会 ニュース

がんばるうや

2002年12月 第32号

発行/社会福祉法人
もみじ福祉会



知的障害者授産施設(通所) 第一もみじ作業所
身体障害者通所授産施設 第二もみじ作業所
グループホーム つばさ・たんぽぽ
〒730-0823 広島県広島市中区吉島西2-1-24
TEL(082)243-0331 FAX(082)243-0497
HP: www.fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの(骨子)

- 私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。
1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
 2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
 3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
 4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。

土地を見学した 夢をかたちに委員のメンバーに インタビュー

市営住宅のまん中に土地があったびっくりした。もみじから近かったからいいと思う。(伊世)

とても広い土地でした。まだ何もなかったけど、早く建物が建てばいいな。(中田)

土地が決まってうれしい。これから仕事をしながら楽しみにして待ちます。(佐伯)

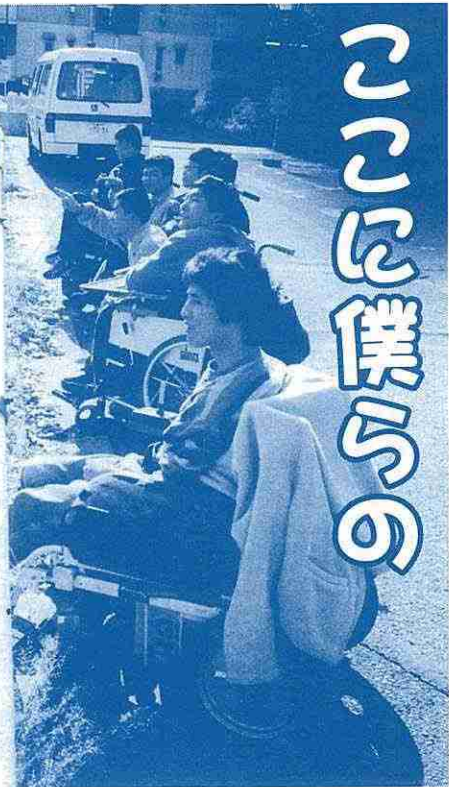
あの土地が本当に決まればいいと思った。現実のものになるにはハードルがいっぱいあるので、まだまだ実感がわきません。(小坂)

土地が決まってうれしいです。夢トピアの建物を早く建てて充実した生活がしたいです。両隣の土地に何ができるか不安でもあります。(橋本)

土地提示される！ 夢実現に大きな前進！

これを受けて、もみじ福祉会では、さつそく十月十一日に地元の町内会の役員さんたちに説明会を開催させていただきました。お陰様で暖かいご理解とご支援を約束していただくことができました。また、参加いただいた役

夢トピア



多くの皆様のご支援ご協力を頂いて推し進めています。「身障福祉ホーム・グループホーム・地域交流スペース」合築施設の建設。この度、待ちに待った建設用地の貸与について、広島市より「観音新町」と具体的な提示がありました。

買さんから、さつそく保育園バザーへの出店のご案内をいただき、支えていただけたこと、たえを感じています。今後はさらに近隣の皆様にもご理解ご協力をお願いしていきたいと思っています。

一方、十月二十五日には実施設計の開始にむけて、関係者で大阪の「あいほーぶ吹田」や京都の「ハイツ竹とんぼ」の見学に行きました。今回は設計士さんにも同行していただき、一緒に行った仲間の障害の様子も知られた事もあり、早速個室のモデル図面を書いていただき、検討に入りました。

また、十月二十八日には、要望書をもって広島市障害福祉課との懇談会を行い、本人の生活費に大きく影響する地代の減免(有償貸与のため)、あるいはホームの有効利用や地域の要求に応えるための短期入所事業などの受託もお願いしました。

また、施設の名称については、利用希望者から募集し仲間全体にかけて絞り込んだ結果、この建設運動の中で作曲されたオリジナル曲の題名である「夢トピア」と決定しました。

今後、広島市の審査会での協議を経、市の予算が組まれ、国に申請書をあげて、それから認可を受けて建設着工、そして開所と、まだまだ道のりは長く険しさも予測されますが、さらに関係者一同力をあわせてがんばりたいと思います。今後ともご支援をよろしくお願い致します。

夢づくり 応援団 大募集

私たちの夢を応援して下さい

身障ホーム グループホーム

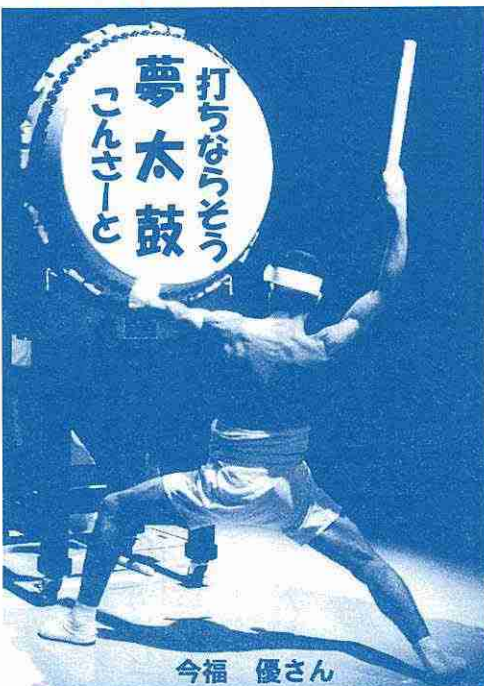
2億円の資金づくりに
ご協力をお願いします。

- 寄付 個人 1口 3,000円
団体 1口 10,000円

●作業所に持参して
いただいてもOKです。

★郵便振替
口座 夢づくり応援団
番号 01350-5-19452

★12月15日アステールプラザ★



今福 優さん

練習です。演目は「石見舞太鼓」。今回、全面的に協力して下さっているプロの太鼓打ち今福優さんのオリジナルです。今福さんとの合同練習も、八回を数えました。いつもたくさんの太鼓を車に乗せて、遠く島根県見町から駆けつけて下さっています。

仲間たちの夢に共感し、応援します。

今福さん・慈音の皆さんたちと共に作り上げたいと思っています。

ぜひ、十二月十五日(日)十五時からはアステールプラザ中ホールまで足をお運び下さい。今福優さん・慈音・そして、みじ関係者の威勢の良い太鼓をぜひ聞きに来て下さい。お願いします。

「ドン・ドン・ソレー」「ワッショイ!ワッショイ!」のかけ声も元気良く、作業所では昼休み毎日、太鼓の音が響いています。身障ホーム・グループホーム・地域交流スペース建設支援としてもみじ福祉会十周年記念事業として行われる「打ちなうそう!夢太鼓コンサート」のエンディング「もみじ100人太鼓」の

援して下さい。今福さん、そして慈音の皆さん(今福さん同様、今回のコンサートに全面的に協力して下さい)に広島で活躍されている太鼓サークル)には感謝の思いでいっぱいです。

広島市から具体的な土地提示を頂いた今、さらに夢を大きく近づけるためにも、元氣



最近テレビでは、出演者が一つのテーマにそって語り合う「シャベリ場」というトーク番組が盛んに行われています。皆さんご存知ですか？

もみじでも、仲間たちの「もっとみんなでいろいろな事を語り合いたい」という思いから年に一回ではありますが、三年前よりシャベリ場なる語り合いの場をスタートさせました。

「もみじシャベリ場」は仲間の会の役員が中心となり、テーマや話し合いの方法を検討し進めてきました。

今年は、十月三十日（木）「仕事について」「給料について」「将来について」の三つのグループに分かれて一時間半から二時間くらい語り合いました。

手振り身振りで自分の思いを伝えようとする仲間・恥ずかしそうに小さな声で言う仲間などさまざまですが、日頃の思いを語り合う事ができ、よりお互いの理解へつながる取り組みになったと思います。まだ、全員参加の取り組みではありませんが、いずれは全員が参加して自分の思いを発表できたり、それを自分たちの要求としてとりまとめ、その要求実現に向けてみんなで話し合う事ができればよいなあと思います。

給料	211
¥	56789
¥	317

給料について…

給料のことに興味ある仲間、真剣に考えてみたい仲間が集まり意見交換しました。

内容は

- ① 残業って何のこと？
- ② 残業手当が欲しい？
- ③ みんな何のために働いているの？
- ④ もっと給料を貰うためにはどうすればいいんだろう？

の4点について話し合いました。

①については、具体例を色々挙げながらもみじでいうと「終りの会が終わって四時半とか五時まで仕事をしたり、納品に行くこと」との意見に多くは同意していました。（朝早くから仕事するのは？という鋭い突っ込みもありましたが…）

②については、今は残業手当無し、休日出勤手当無しの悪徳企業並（失礼！）のみんなの給料。

「残業手当が出るなら月一回の方の地域販売に出たい」という意見もあれば、「残業自体したくないんだ」とか「お金じゃない、心だ」という少数意見あり。色んな意見が出ましたが、おおむね「働いた分はお金を貰いたい」という声が多かったです。

③については、「自分のこずかいを稼がんといいけん」「お金が欲しいから」という意見から「ウエス（仕事）したいから」「生き甲斐のため」というものまで様々な意見が出ました。「家で寝るより作業所に来てみんなと色んな事をしたい」という意見に「そうよねー、三日なら」



仕事についてのグループは仲間十二名、職員二名が参加しました。

このグループでは、仲間たちの仕事に対する思いを語り合いました。特に仕事時間の見直しと新しい仕事への挑戦についての話題が中心となりました。

内容を紹介します。

給料を増やすためにまず仕事時間を見直したいけど、仕事時間を増やすためにはどうしたらいいと思う？

- 全体の朝の会と授産の朝の会があるのどちらか一つにしてその分仕事の時間にあてた方がよい。
- 二時の休憩時間を短くしたり、

家でゴロゴロも良いけどね」と職員も頷く場面もありました。でも中には「仕事は趣味だから」なんて企業戦士のような人も…

④については実現不可能な意見や具体的な意見など色々出ました。「どんなクッキーを買いたがっているかお客さんに意見を聞く」という意見も出ました。（マーケティングですね）結論は出ませんでした。みんな心の中では色んな事を考えているんだなあと改めて感じました。



自治役員の人々で！ピース！

等の意見があり、工夫の仕方を自分なりに考えているんだなあと感じました。仲間の中には、八時から五時まで働きたいという人もいて、仕事への前向きな気持ちを感じることができました。

今の仕事のほかにやってみたい仕事がありますか？

- パソコンで納品書を作りたい。
- お店で働きたい。
- クッキーを作りたい。

一回からでも実習したい。

等の意見がありました。今の仕事は長年の継続でみんな大ベテランで毎日自信と責任を持って働いていますが、新しい仕事へ挑戦してみたいという思いを持



うた、太鼓
もみじの文化を力に



新江義雄 さん

早いもんで、ぼくがもみじの仲間達とつながりを持つようになったのはや十五年前になる。

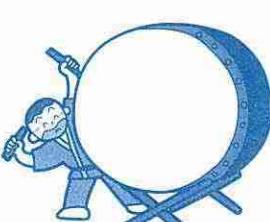
たしかその一年か二年前からすでに「ともだちコンサート」が始まっていたのだが、ぼくが眼を患って治療中だった。

その病み上がりのぼくに、大野さん（現・太鼓センター）が第二回目のコンサートの企画にちよつと顔を出さないか、と声を掛けてくれたのがキッカで、まずは仲間にあつて見よう、とあの小内町にあったもみじ作業所に行った。まだ眼が今ほど回復していない時でクモリガラ

スを通して仲間達を見ような有様だったが、仲間達の明るい笑顔と声に誘い込まれ、そのパワーに圧倒された。「やれこれからどうしよう」と少し先の見えなかつたぼくの後ろ向きになりかけていた背中をドンと前に押し出してくれたような気がした。なんか、楽しくなって、夢を抱いて「♪デッカクイこう」と呼びかけ「♪おい！おい！」は労働者、と歌いたくなった。

で、以来もみじにハマリ、仲間達と事あるごとに声かけ合うこととなる。そんなこんなに関わりを、つい先日「うたごえ新聞」に書いたばかりなのだが、もみじに関わって、法人化を目指す仲間やお母さんや指導員さんの詩を詞に編み歌にしていく合唱構成づくりのサポーターになると、ぼくはいつもパワーをもらい元気になる。しかもそう

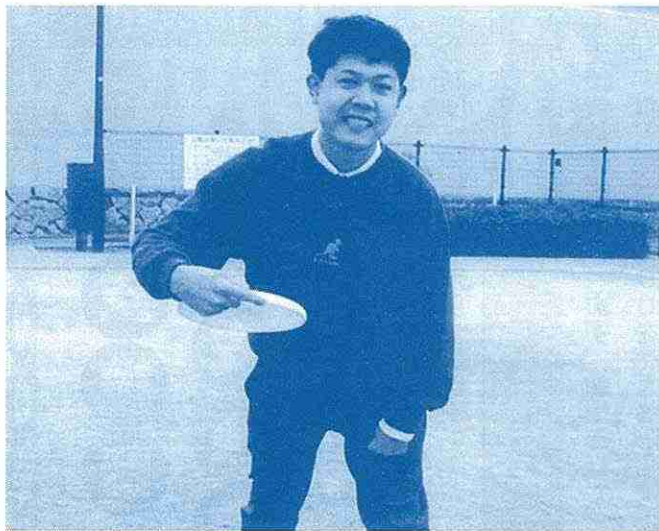
してコンサートを七年間に五回ほど積み重ねていくと、なんと法人化の夢が叶ったのだ。だから、こんどの身障ホームとグループホームに地域交流スペースを盛り込んだ『夢トピア』をつくる夢も、この五年間にともコンや梅原コンサート二回、そして太鼓コンサートまでやるのだから、きつとかなうに達しない。実現したら「ありがとう」コンサート、というの少し気が早い。これから仲間を真ん中に歌や太鼓・文化を力にして、もみじの夢を叶えていって欲しい。その時は、サポーターとしていつでも馳せ参じたい、と思っています。



グッズ等はいかがですか？

- **メールノートセット 600円**
巻いた（ノック式）ふみ式
- **ジングルベルセット 750円**
リースアレンジまつぼっくり
アロマキャンドル3個
紅茶（ティーバック）3
オリジナルクッキー
雪だるまの人形
- **オリジナルカレンダー 800円**
なかまの夢と心のこもった絵がいっぱい！
そして使いやすいヨ！
- **かみ 100円**
たくにしゃれに

身も心もフライング?空高く飛んでいけ!



11月17日(日)、身体障害者フライングディスク大会(ビッグアーチにて)に、参加しました。結果は、下記の通りです。「次は優勝したい」と、来年に向けての新たな目標を持った仲間もいて、楽しく、そして、がんばった一日でした。

クラブ活動のなかの「スポーツB」クラブのメンバーのうち、藤本くん、許田君が参加。

「スポーツB」では、この試合にむけて、ずっと練習してきたんです!

結果

★アキュラシー(輪に入れる)

許田くん→2組の4位

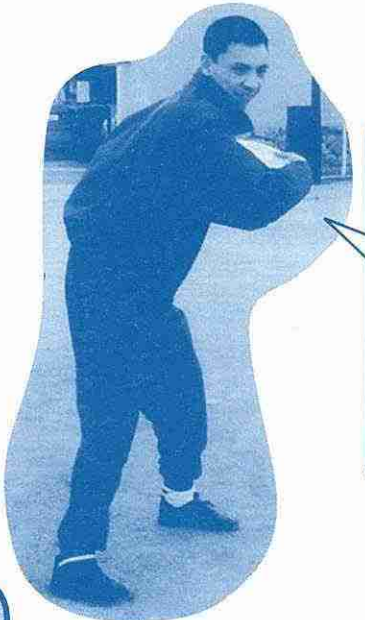
藤本くん→3組の2位

★ディスタンス(距離をはかる)

許田くん→2組4位

藤本くん→3組2位

おつかれさまー!



このかままでOKかな?

伝言版

◆1月11日(土) きょうされん事業委員会の研修

(仮) 古沢 潤さん

(なかまのうたカレンダー選考委員)

テーマ:「仲間の芸術活動について」

場所:生涯学習センター

◆1月30日(木) 学生無年金障害者訴訟 第8回裁判

11時30分~

支援の輪をひろげよう!

◆2月22日(土) きょうされん 広島県支部 実践交流集会

福祉社会日誌

9月

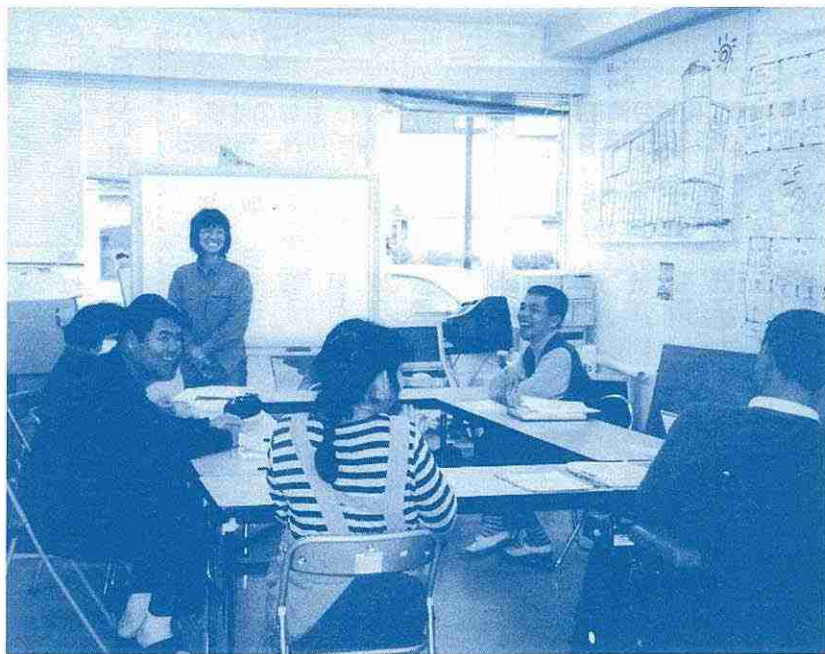
- 2日 家庭裁判所より実習(〜4日まで)通所者検診(採血)
- 4日 もみじ作業所・地域販売デー
- 5日 無年金訴訟第6回裁判
- 6日 もみじ作業所一泊旅行
- 8日 県知的障害者陸上競技大会参加
- 9日 全労済より実習開始(19人)
- 10日 もみじ作業所防災点検
- 12日 中福祉事務所より見学来所
- 13日 舟入小学校見学来所
- 15日 もみじ福祉会後援会・夢づくり応援団主催「自立シンポジウム」
- 16日 三育学園バザー出店
- 17日 市立義護学校生徒実習開始
- 18日 通所者検診①
- 19日 通所者検診②
- 市立義護学校より保護者見学来所
- 20日 舟入小学校見学来所
- 25日 司法修習生実習・交流
- 26日 二葉園より見学来所
- 通所者検診③
- 28日 比治山学園バザー出店
- 29日 「もみじ100人太鼓」練習日

10月

- 1日 もみじ作業所電気一斉点検
- 2日 もみじ作業所・地域販売デー
- 3日 夢を形に委員会・ミニ街頭カンパ活動
- 5日 もみじ福祉会後援会・合衆ホーム建設支援バザー
- 7日 もみじ福祉会第13回評議員会第46回理事会
- 10日 自主防災訓練
- 11日 合衆ホーム・町内会説明会
- 14日 「もみじ100人太鼓」練習日
- 15日 江波中学校実習来所
- 17日 クラブ活動④
- 福山ばら会見学来所
- 保護者への支援費学習会
- 18日 もみじ福祉会後援会・臨時総会
- 21日 女学院高校より見学来所
- 25日 大阪・ハイツ竹とんぼ等見学出張
- 障害児こども祭り参加
- 27日 合衆ホーム等に関する対市懇談
- 28日 いもほり招待①
- 29日 原小学校よりパン作り見学来所
- 30日 いもほり招待②
- 31日 市立義護学校PTA見学来所

11月

- 3日 西区民祭り出店
- 女学院文化祭委託出店
- 4日 もみじ100人太鼓全体練習日
- 6日 もみじ作業所地域販売デー
- 9日 きょうされん虹の会文化祭参加
- 10日 広島県立義護学校文化祭出店
- 12日 磯町中学見学来所
- 14日 無年金訴訟第7回裁判
- 15日 安佐北区障害児学級見学来所
- みずほ財団助成金贈呈式
- 16日 進徳学園文化祭出店
- 17日 吉島小PTAバザー出店
- ろう学校文化祭出店
- 障害者フライングディスク大会参加
- 舟入小学校との交流会
- 20日 RCC作業所取材
- 25日 市立義護学校見学来所
- 27日 授産振興センター「作業所見本市」参加



役員会におじゃましました。

「今はクリスマス会のことについて、話し合ってます!」

「みんな、楽しみにしてて!おもしろい企画もりだくさん!」

語り合おう

将来について...

「将来について」といってもいろいろありますが、今回はこれからの生活について話し合いました。

まず、これから先どんな生活をしたいか、という話しでは、グループホームに入ってみないと暮らしたいとか、独りで暮らしてみたいとか、ずっと家族といたいとか、色々な意見がありました。

そして、実際一人で暮らしている職員がどんな生活をしているのか聞きたいということで、職員のNから、生活費の内訳など、いろいろ話を聞いています。職員の話をしている仲間の様子を見ると、いつもとは違っていて、みんな目が輝いていて、興味深く聞いている様子が印象的でした。

最後に、自立した暮らしをするためには何が必要かという話になり、これからの生活にお金がたくさんかかることが心配だという仲間が多かったのが印象的でした。

もっと、給料がほしい、そのためにはこれからどうすればいいか考えていかないといいけないとみんな思っているようでした。

将来の話をしている仲間の様子を見ると、いつもとは違っていて、みんな目が輝いていて、興味深く聞いている様子が印象的でした。

MOMIJI

インフォメーション

心あたた オリジナル

コーヒーセット 400円

オリジナルブレンドコーヒー100g
もみじオリジナルクッキー

紅茶セット 550円

無農薬有機栽培紅茶(リーフタイプ)
もみじオリジナルクッキー

美味しいコーヒーセット 1300円

オリジナルブレンドコーヒー
竹炭2枚
竹炭のまどろ
陶器のコーヒーカップ

ゴールデンブレンドコーヒー 250円

収益の半分は、身障ホーム・グループホーム・地域交流スペース建設資金として、半分は仲間の給料として使います。ご支援よろしく!

さをりな

ちょっ

後援会コーナー

2002年度、後援会費を納入頂いている、個人・団体の皆様
ありがとうございます。(9月～10月、敬称略)

沖本 久保 後藤 花田 雲田 梅田 上本 山本 東田 中川 藤谷 森田 深屋 坂 北谷	光彦 正道 恭子 弘美 光直 茂也 美由紀 晋一 操 恵子 昌行 恵子 昭正
江島 勝美 川口 隆 堀江 永井 田代 中本 古川 高美 吉井 佐倉 古城 田中 北谷 藤葉	谷幸子 龍範 一夫 郁江 由美江 美也子 大介 直行 充 敏美 門淳子 茂雄 優子 祐造

グループホーム・身障ホーム合築施設建設支援

夢づくり応援団へのご寄付
ありがとうございます。

(2002年9月1日～10月31日まで 敬称略)

山下 博 小原 ゆり 中本 美也子 古川 大介 池内 利美 高倉 直行 永井 玉実 江島 勝美 古城 門淳子 佐倉 敏美 木村 忠孝 木村 孝	北中村 松代子 藤本 山本 三宅 花田 清水 角井 智治 亜紀 伸一 繁子 智子 優子 祐造 代子 光彦 宏成 章子
中村 中村 今福 大内 鍛冶 川法子 信夫 子 好次 一成 浩 達夫 健司 洋子 竜也 一 まり	林外科 八田 藤本 早川 山田 小西 小西



支援費 ミニ情報 (施設編)

どうなる 支援費

措置費制度の廃止、平成十五年度からの支援費制度への移行という動きの中、去る九月十二日、厚生労働省の全国担当課長会議で、やっと支援費基準単価や利用者負担基準などが示されました。

そして、議論沸騰

まず、前提として、全国1500を超える障害関係施設において試算された「みなし支援費」総額においても、「想定支援費」総額においても、現行の措置費総額よりも下回るという事態が明らかになってきました。

特に重度加算という考え方や民間施設給与改善費(職員の平均勤続年数によって措置費加算率がアップしていた)などがなくなつたため、重度身体障害者授産施設(入所)や同更生施設、

ここまでは、少しわかりにくいかもしれませんが、主に施設側かとは思いますが、主に施設側



「新しい缶つぶし機、調子いいよー!」
— 右下記事関連写真 —

約束違反?

減はないものの、やはり民間施設給与改善費の廃止や新会計基準への移行等による、今後の人件費増への対策や赤字幅拡大への対応に頭を抱えることになるでしょう。

あちこちから、「改善を!」の声

さらに、利用者負担額について、「現行水準を上回ることはないよう配慮し…」等々言われていたにもかかわらず、負担基準額の上昇額について物価スライドによる引き上げが提案されており、「約束違反だ」との声も出ています。

どうなる公平・公正



以上のような財政面の問題はもとより、例えば、利用者個々の障害程度区分の判定作業においても、現在示されている認定基準では、客観的で公平性を確保できるような判定はとても可能とは思えません。これは実際に現場の指導員が体験してみましたが、利用者のことをよく知っている指導員たちでさえ延々と論議しても一致が困難なものを含んでいます。この基準のみならず判定システムにも問題があると思われ改善が望まれます。

行き着く先は?

さて、一連の基礎構造改革のもとで、障害福祉分野では措置費制度廃止、支援費制度への移行となったわけですが、一貫しているのは、国家・政府責任の

缶つぶし ガンバルゾー!

みずほ福祉助成財団より
助成金を受ける



目録を頂きました。うれしいけどちょっと緊張。
— 11/15 みずほ銀行広島中央支店にて贈呈式 —

もみじ作業所の五つの作業グループの内ひとつ、軽作業グループ。

長引く不況で、無認可時代から十年二十とやってきた弁当箱折りや建築金具の下請け作業が途絶えてしまいました。「不況に負けるな」と知恵を絞って新たに始めた「アルミ缶つぶし」と「ウエスづくり」のリサイクル事業。

町内会をはじめ地域の皆様の絶大なるご支援で、順調に伸びて来ました。が、そこで困ったのがまずは缶圧縮機の不足。多くの仲間が関われない上に、ハード使用で圧縮機もややくたびれ気味。もう一つの悩みは、園庭での作業。雨が降り出したら中止、また今夏の暑かったこと、仲間もばて気味。何とか解決したいとみずほ財団に助成を申し込んだところ、作業場屋根の設置とあき缶圧縮機二台の助成を頂けることになりました。仲間も職員も大喜び、早速、圧縮機と屋根工事を発注し、早く早くと心待ちにしています。ありがとうございます。

おねがい

もみじ福祉会後援会では身障ホーム・グループホーム建設支援のため、「書き損じハガキ・未使用切手等の収集キャンペーン」と「ホーム建設募金箱設置運動」を続けています。年賀状などで、書き損じや余りが出ましたら、ご寄付いただければ幸いです。ぜひご協力お願いします。